

【ヤマト、オリコンサルら出資会社 道の駅まえばし着工】

道の駅まえばし着工

ヤマト、オリコン

サルら出資会社



町田ヤマト社長

ヤマトとオリエンタルコンサルタンツなどが出資するロードステーション前橋上武（前橋市、町田豊代表取締役）は8日、道の駅「（仮称）ま

えばし」新設工事の地鎮祭を前橋市の現地で開き、本格着工した。2022年11月末の工事完了、同12月の開業を目指す。

この事業は、前橋市が「独立採算型PFIと公設民営の複合型」により整備するもので、基本計画段階から事業者を選定し、設計・建設・運営を同一事業者が担う、日本初の計画付き事業者公募を採用して、ヤマトとオリエンタルコンサルタンツ、オリエンタル群馬でつくるヤマト・オリエンタルコンサルタンツグル

ープを事業者に選定。18年12月にPFI特定事業契約を締結していた。

計画では、約7畝の敷地面積に、観光案内所・情報発信施設、物産販売所、加工施設、農畜産物直売所、地産レストラン、カフェ、フードコートなどを備えた延べ約7180平方メートルの施設を建設するほか、駐車場、芝生広場などを整備する。

赤城山の裾野に位置する同市関根町、田口町の建設予定地が市・県外から人々を迎える上武道路と市内からの人々

が訪れる国道17号の結節点にある立地を生かし、豊かな赤城の自然と快適な都市空間としての前橋市街地をつなぐ「前橋の新たな玄関口」としての道の駅実現を目指す。

設計はヤマト・オリエンタルコンサルタンツ道の駅設計共同体、施工はヤマト・宮下工業JVが担当する。

地鎮祭にはヤマト社長でロードステーション前橋上武代表を務める町田氏ら事業関係者のほか、山本龍前橋市長ら市と市議会関係者などが出席し、工事の安全を祈った。